



**Juntos!! 中南米対日理解促進交流プログラム
ブラジル日系社会応援グループ 記録**

1. プログラム概要

【テーマ】

地方・文化交流

【参加者】

ブラジルより10名

【訪問地】

東京都・群馬県・神奈川県

2. 日程

【事前学習(オンライン)】

1月26日 来日前オリエンテーション

2月9日 本プログラム事前説明

【来日プログラム】

1	2月15日(日)	成田空港より訪日団入国 東京都へ移動 オリエンテーション(カリコムグループと合同)
2	2月16日(月)	【交流】 外務省訪問 参加者のプレゼンテーション 【視察】 国会議事堂 皇居
3	2月17日(火)	【交流】 大泉町観光協会訪問 大泉町に関する講義 日系ブラジル人経営者(幕田マリオ氏)講話 日本定住資料館見学 【表敬訪問】 大泉町 村山俊明町長 表敬訪問・懇談 【視察】 株式会社SUBARU大泉町工場 工場概要説明 工場視察 ブラジル人従業員との意見交換
4	2月18日(水)	【視察】 東京スカイツリー

		東京スカイツリーの構造についての講義 放送行政と東京スカイツリーについての講義 NHK放送機室見学 【交流】 日系人インフルエンサー(落語家らむ音さん)との懇談 【表敬訪問】 外務省 石瀬素行中南米局長 表敬訪問
5	2月19日(木)	【視察】 横浜港内大栈橋 JICA横浜 海外移住資料館
6	2月20日(金)	【表敬訪問】 佳子内親王殿下御接見 【視察】 浅草
7	2月21日(土)	成田空港より訪日団出国、帰国

3. プログラム記録写真

【来日プログラム】



2月15日 オリエンテーション



2月16日 外務省



2月16日 外務省



2月16日 国会議事堂



2月16日 皇居二重橋前



2月17日 大泉観光協会



2月17日 大泉町役場



2月17日 株式会社SUBARU



2月18日 東京スカイツリー



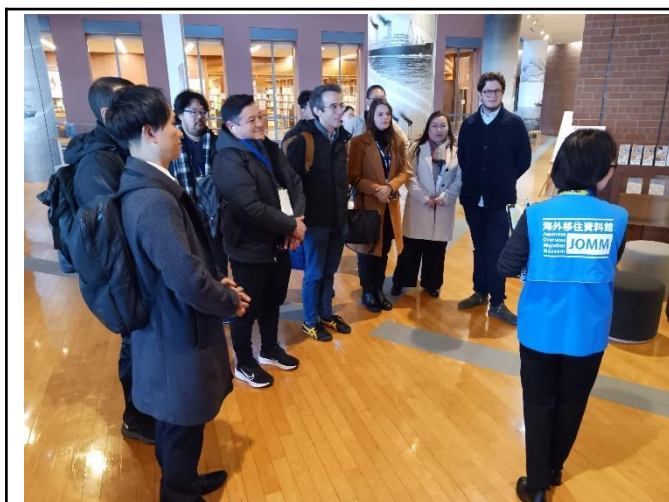
2月18日 日系人インフルエンサーとの懇談



2月18日 外務省



2月19日 横浜港内大棧橋



2月19日 JICA横浜 海外移住資料館



2月19日 JICA横浜 海外移住資料館



2月19日 JICA横浜 海外移住資料館



2月19日 JICA横浜 海外移住資料館



2月20日 浅草



2月21日 出国

4. 参加者の感想(抜粋)

- 外務省でのプレゼンテーションは招へい者が互いを知り合う良い機会となりました。
- 国会議事堂では、日本の政治の仕組みや建物の構造について知ることができ、とても興味深かったです。
- マリオ・マクダ氏の体験談から、ブラジルから日本へ移住した人々の詳細な生活や困難が分かり、非常に印象深いものでした。
- 村山大泉市長との懇談では、外国人と日本人の結束を育むという町長の強い意志に感銘を受け、印象に残りました。一般的には移民に対して時に抵抗を示す地域があるにもかかわらず、大泉町では文化の違いを越えて架け橋を築こうと尽力する人々が存在することを理解しました。



- 株式会社SUBARUでの視察では、日本のものづくりに直接触れたことは大きな意味がありました。労働時間、休憩時間などを含む日本の職場環境を知ることができたことも興味深かったです。そして、効率性を重視しつつも従業員の健康を大切にする会社の姿勢は称賛に値すると感じました。
- 東京スカイツリー見学時の技術的な解説は興味深かったです。塔の構造設計、使用材料、風や地震に対する多重防護システムについて深く理解できたことで、日本の工学技術をより良く把握できました。
- インフルエンサーのらむ音さんとお会いしたことで、これまで知らなかった落語について学び、日本とブラジルの文化の新たな架け橋を築こうとする芸術家の歩みを目の当たりにできたことは、実に素晴らしい経験でした。この機会に深く感謝しています。
- 外務省での石瀬素行中南米局長との懇談では二国間関係と協力の見通しについて議論しました。ブラジルと日本の関係の特徴づける、親しみとパートナーシップの精神に満ちた対話でした。
- JICA横浜海外移住資料館では、日本人移民たちの軌跡について、彼らが直面した困難、乗船した船、ブラジルまでの約60日間の航海中の日常生活など、より深く知ることができました。また、資料館にあるシステムで家族を検索したところ、データが表示されました。表示された瞬間、歴史を保存することの重要性和、私たちの祖先が決して忘れられることはないかと改めて確信する、非常に感動的なものでした。
- 私たちのグループは、佳子内親王殿下とご挨拶の機会を賜り、この上ない光栄に浴しました。敬意に満ちながらも温かな雰囲気の中、ブラジルを代表できることに全員が誇りと興奮を覚えました。特に、母国に強力な日系ブラジル人コミュニティが存在することを考えると尚更でした。
- プログラム中に受けた配慮や厚意なしでは今回の訪問が私にとってこれほど記憶に残る、意義深いものにはならなかったでしょう。本当に素晴らしい経験でした。

実施団体名：公益財団法人AFS日本協会